

松本の書物

花開く出版文化と文芸

本州の中央部に位置する信州、さらにその中央を占める松本は、江戸時代には城下町として発展し、そこに暮らす人々は、身分を問わず文芸に親しみ、豊かな書物文化を育ててきました。

一方で、江戸時代は商業出版文化が隆盛を極めた時代でもあり、19世紀には、この松本でも盛んな出版活動が展開されはじめていたことが知られています。

このたびの特別展では、旧制松本高等学校旧蔵資料を含む信州大学附属図書館所蔵の貴重書を紹介し、松本の書物文化を紹介します。この地に根差した文化基盤と、その精華としての書物の姿を味わっていただければ幸いです。

2026年 **1月31日** (土) ~ **3月22日** (日)

旧制高等学校記念館 1階ギャラリー

ギャラリートーク 2月28日(土) 11:00- / 14:00- (各回30分)

解説 速水 香織 教授 (信州大学人文学部)

【主催】信州大学人文学部
信州大学附属図書館
旧制高等学校記念館

【問合せ先】信州大学附属図書館中央図書館
〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1
Tel : 0263-37-2172 (平日 9:00-17:00)